

	審査対象	審査内容
モデル駆動開発審査	導入プロセス	モデル駆動開発を導入する過程を審査します。
	チームビルディング	モデル駆動開発を実施する上で行った役割分担の妥当性を評価します。
	導入・設計指針	どの様な指針をもとにモデル駆動開発技術を導入したかについて評価します。1) 開発プロセスに対する要求整理(保守性、再利用性、機動性など)、2) モデル駆動開発技術の調査・評価、3) モデル駆動開発技術の適用指針の策定、などについて記述してください。
	既存資産活用	モデル駆動開発を導入する上で、既存資産をどのように活用したのかを評価します。既存資産とのインタフェースの切り方、コードからのリバースモデリングして利用するなどの既存資産の利用方法について記述してください。
	開発プロセス・成果物	モデル駆動開発技術を利用した開発のプロセスを評価します。
	設計内容	モデル駆動開発技術を適用した部分について、構造と振る舞いが設計指針を適切に満たしているかを評価します。
	モデルと成果物の一貫性の保持方法	モデルからソースコードやテストケースなどの成果物を開発する際に、どのように一貫性を保っているのかを評価します。モデルから成果物への変換規約、自動変換方法、成果物からモデルへのフィードバック方法、などについて記述してください。
	検証手法	モデルを用いて動的・静的検証していると判断される場合に、その検証指針と妥当性を評価します。
	適用効果評価	モデル駆動開発技術を適用したときの品質や工数などの定量的な評価や、コミュニケーションの向上などの開発上の定性的な評価が記載されていると判断される場合に、その妥当性を評価します。
	オリジナリティ	モデル駆動開発を効果的に推進する上で独自に工夫したことを評価します。メンバーのスキル向上、情報共有、独自に工夫したことについて記述してください。